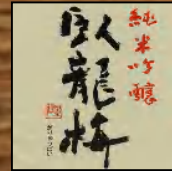


『臥龍梅』 蔵便り

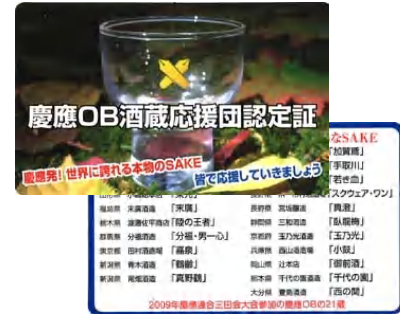
平成二十一年霜月



拝啓 温暖の地、ここ静岡でも、朝晩はめっきり冷え込むようになってまいりました。皆様お元気でお過ごしでしょうか。

まず、営業関係のご報告から。10月1日、沼津東急ホテルで開催された「静岡県地酒祭り」に参加しました。今回は新しい試みとして、イーチケットによって入場券を販売しました。また、入場料が2,000円という安価な設定だったことも手伝ってか、会場には1,000人近くのお客様が詰めかけて大盛況でした。これまで県内で開催されたイベントとしては最大規模です。当社ブースもてんやわんやの大忙しでした。10月18日には、慶応大学の日吉キャンパスで開催された連合三田会の「慶應OB21酒蔵コーナー」に参加しました。こちらは大勢のお客様でごったがえしました。出身大学など関係なく、臥龍梅がブースを設けると聞いて駆けつけてくださったお客様もあり、感激いたしました。それにしても、卒業して30数年後に自分が臥龍梅の**はっぴ**を着て母校のキャンパスをうろうろすることになるとは夢にも思いませんでした。その翌日は地元に戻って、(株)平喜さんの主催する「銘酒探訪蔵の会」に参加しました。会場は静岡グランシップ。昼の部は業界関係者中心の利き酒会、夜の部は楽しい懇親会という2部構成です。臥龍梅のファンが着実に増えているのを実感いたしました。10月30日には地元清水の酒蔵4社が主催する「駿河路酒メッセ」に参加しました。遠く大阪や東京から泊りがけでこのイベントに参加していただいたお客様もあり、ありがたい限りです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

次に、製造関係のご報告。今年も10月1日に菅原杜氏以下4名の蔵人が蔵入りしました。次いで、10月4日の大安吉日には市内栄松院のご住職を招いて恒例の醸造祈願祭を執り行い、洗米に着手しました。半年振りに蔵に帰ってきた蔵人たちですが、元気いっぱいです。10月13日には1号の留を仕込みました。しょっぱなから五百万石 55%の純米吟醸酒が連続10本続きます。写真は11月3日、留後22日めの仕込み1号の醪(もろみ)のツラです。もう大分落ち着いて酒になっているのがお判りかと思えます。利き酒してみると、臥龍梅独特の芳醇な含み香もたってまいりました。予定では今月15日頃に上槽し、20日過ぎには出荷して皆様のお手元にお届けできるかと思えます。



今月は、ただいまご報告した**五百万石 55%の純米吟醸袋吊り雫酒**と**無濾過生原酒**をご案内いたします。毎年恒例、シーズン始めにお届けする人気商品です。皆様お楽しみに。

向寒のおりから、どうぞご自愛ご専一に。

平成21年11月吉日

敬具

鈴木克昌